



一般社団法人 東員町文化協会 広報



第103号

令和8年2月発行

第58回東員町文化祭



『その手は桑名の焼きはまぐり』



桑名市文化協会 会長

森 一蔵

NHK大河ドラマ「べらぼう」をご覧になっていた方も多いことでしょう。浮世絵や黄表紙などの版元であった「蔦重」こと蔦屋重三郎の物語だったわけですが、桑名藩主松平定永の父、寛政の改革で有名な松平定信が、悪役として描かれていたことは、定信最真の桑名市民にとっては、ちょっと眉をひそめる展開でした。これまで習ってきたのは、田沼意次が悪で、それを糾す定信が善だった。

物語の中で、ひんばんに出てきた「ありがた山の寒がらす」・「かたじけ茄子」などの洒落言葉、地口といいますが、これなど江戸文化のひとつだと思います。ドラマでは使用されませんでしたが、何と云っても「その手は桑名の焼きはまぐり」は、有名です。だじやれの元祖とも言えるこの洒落言葉は、江戸でも桑名の焼き蛤が如何に有名だったかを物語っています。「東海道中膝栗毛」の弥次さん・喜多さんも、桑名でこの焼き蛤を肴に酒を飲んでいました。

東海道42番目の宿場町である桑名は、旅籠の数では隣の宮宿について多い宿場でした。その理由としては、宮宿と桑名宿の間が近世東海道で唯一の海路、船での行程であったため、天候不良などで船が出ないこともあり、船待ちのための宿が多かったことによりです。お伊勢参りに行く人、東海道を江戸や京都へ向かう人、多くの人が桑名を行き来し、蛤に舌鼓を打ったことでしょう。その「焼き蛤」が、食文化を広めるために作られた文化庁の100年フード事業に、令和7年選ばれました。

私が作る桑名萬古焼の開祖・沼波弄山、田沼意次の一歳年上、同じ時代の人です。真(まさ)にべらぼうの時代の焼き物です。桑名に多く残っている文化を、文化協会の皆様とともに守り伝えていきたいと考えております。

皆さんも、「焼き蛤」を召し上がれ！

【略歴】

走泥社同人

桑名市指定無形文化財技術保持者(萬古焼色絵)

三重県指定桑名萬古焼伝統工芸士

文化祭

ひばり②

期間 10月25日(土)～11月2日(日)

会場 東員町総合文化センター

第58回東員町文化祭を終えて

オープニング式典で町長、来賓の方々による厳粛なテープカットが行われ、バトンメイツフェニックスによる華やかな演技が披露されました。

今回の文化祭は入場者数1,627名、作品数は401点出展されました。長年技術を磨いている方、始めたばかりの方も力作ばかりで十分楽しんで頂けたと自画自賛している次第です。

関係者の皆様のおかげで無事終わることができました。ご協力ありがとうございました。

展示プロジェクトリーダー 川島 絹枝



目次

特別寄稿	1
第58回東員町文化祭作品展	2
個人作品展・公民館講座作品展	4
学校・学童作品展	5
連載続々・歴史よもやま話	6
活動このごろ	7
会員の文芸作品	11
第33回春の文協まつり予告	12
編集後記	12





個人作品

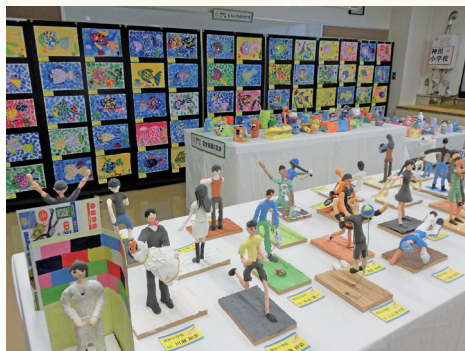


公民館講座卒業作品

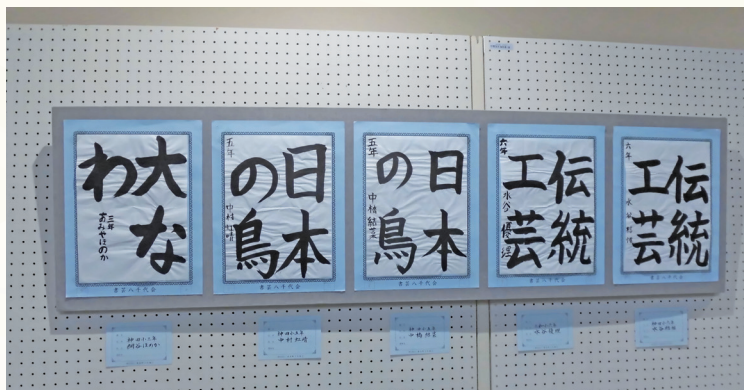




学校作品



学童作品



続々・歴史よもやま話

其の十

いなべ
猪名部神社
第二五世宮司

石垣 光磨

「内館牧子先生を偲んで」

四半世紀前、大阪府に女性知事が誕生し、大相撲大阪場所千秋楽で府知事が土俵に上がる上がないの論争が巻き起こった際、内館牧子先生が「猪名部真根」を題材にして週刊ポストに投稿されました。

横綱審議委員であった内館先生は、「日本書紀」で最も古い「相撲」この二文字が登場する「猪名部真根の一件」で論戦に加わったのです。これは初の女性総理を生んだ今だからこそ通じるものがあるのかもしれません。

猪名部真根は土木、建築、木工の匠で、だれもが舌を巻く腕前で、決して手許を狂わすことはなかった。天才とも思える人物であった。

ある日、宮中でいつものように斧を振るっていた真根の前を雄略天皇が通りかかれ、「見事なふるまいだが、何があっても失敗しないのか？」と問われ、「私には失敗はありません」と言い切り自信満々であった。

後日、真根が自信たっふりに土木技術を披露していたところ、突然、フンドシ一本になった女官たちが入ってきて、相撲をとり始めた。はじめのうちは冷静に作業をしていた真根であったが、あまりにもすざましい嵐のような歓声に思わず斧の刃を欠いて

しまう。

「日本書紀」には「不^レ覚手誤傷^レ刃」とあり、真根は裸の女性の相撲に、つい手許を誤り失敗してしまふ。雄略天皇は豪語と違ふと怒り、真根に死罪を言いわたした。

内館先生が猪名部真根を週刊誌で紹介したのはここまでで、処刑場に追いやられるところで終わりました。しかし、この話には続きがあるんです。このままだと員弁の人間が助平でだらしない、というだけで終わってしまいます。

死罪を言い渡された猪名部真根は処刑場に追いやられました。が、あまりに素晴らしい匠を死なせてはならぬと、周りの人々から歌まで詠んで進言を受けたので、天皇は猛省をされて、真根は許されたのです。

日本書紀には「馬に鞍を着けず走らせたので間に合った」と記されています。裸馬にまたがり処刑場に向かったもので、真根の命は救われました。

この週刊誌の記事がきっかけで猪名部神社と内館先生との縁が生まれ、平成十八（2006）年四月八日、内館先生は大社祭に来訪されることになりました。

当日、内館先生が到着され上げ坂の棚に上がられた時、ドドドドドーッ！人馬一体で駆け上がったき

ました。あれには内館先生もビックリでハートを射止められた様子でした。思わず坂の上に走り寄り祭礼関係者の制止も振り切つて、乗り子のそばに駆け寄りいくつかの質問をされました。

あの時の内館先生の感動？は尋常ではなく、翌年には「気がつけば騎手の女房」の吉永みち子さんと共に来訪されるほどでした。

＜ミュージカル＞「秋田は何もない」

昨年、秋田県へ行かせていただきました。内館先生から「遠いですがぜひお出掛け下さい」と年賀状をいただき、田沢湖の「秋田わらび座」へ演目「秋田は何もない」を観劇にまいりました。まさかこれが脚本家内館牧子の遺作になるとは思いもせずに・・・。

会場は中高生で満席でした。秋田県や県教委の力の入れようがよくわかり、県民の皆さんの熱い思いも手に取るようにわかりました。泣き、笑い、そしてまた泣きました。あの中高生の子どもたちも体を震わせ同じ思いでした。観劇後の中高生の満足感あふれる一人ひとりの顔を決して忘れません。

内館先生ありがとうございました。



東員囲碁同好会 東員町文化祭 第33回東員町囲碁大会

9月21日(日)午前10時～午後3時30分

於 東員町総合文化センター2階

S級(六段以上) A級(五段～四段) B級(三段～二段) D級(初段～級位)
試合方法 スイス方式により一人四局対決

大会当日は猛暑も一段落し晴天に恵まれ、108名の囲碁愛好家が参加し熱戦が繰り広げられました。

今回も東員町近隣のみならず、遠く静岡県を含めた県外からの参加もあり本大会の人気の高さが伺えました。

成績結果

クラス別	順位	氏名	市町名
Sクラス (六段以上)	優勝	島田 春喜	四日市市
	準優勝	林 清文	鈴鹿市
	三位	平林 啓吾	羽島市
Aクラス (五～四段)	優勝	水谷 晃幸	四日市市
	準優勝	小川 由華	桑名市
	三位	諸岡 直二	桑名市
Bクラス (三～二段)	優勝	成田 順一	東海市
	準優勝	寺内 昭	東員町
	三位	小高 治之	いなべ市
Cクラス (初段、級位者)	優勝	高祖 敬一	桑名市
	準優勝	小阪 一孝	いなべ市
	三位	葛山 勲	いなべ市



茶道裏千家(菅野宗敦) 第58回東員町文化祭 大茶会

11月2日(日) 午前10時～午後3時

於 東員町総合文化センター 和室

8月14日 百二歳で逝去されました、茶道を全世界に普及されました 裏千家15代お家元 の追悼を含めまして 鵬雲斎宗室に関わる茶道具等でのお茶会でした。

沢山のご来場をいただきました事に関係者のみな様に感謝申し上げます。

菅野宗敦



活 動 の ご ろ

東員町大正琴クラブ

長深敬老会に出演

9月14日(日) 於 長深集落センター

クラブのメンバー有志で「バイオレッツ」を結成し、3年が経ちました。

主に地域のカフェや老人施設でのボランティア演奏をしています。

長深地区の皆様には、いつも好評いただき、今までカフェにも3回出演させてもらいました。

また、皆様の元気な笑顔にお会いしたいと思います。



楽絵筆

第17回楽絵筆グループ展

7月16日(水)～20日(日)

於 東員町総合文化センター2階展示コーナー

楽絵筆メンバーの日頃描き貯めた作品73点を展示コーナーにパネルを追加して展示。それぞれの個性あふれる作品に来場者からも好評の声をいただきました。

来期も開催の予定です。



YYウクレレグループ

「シロニーカフェ」

9月27日(土) 於 東員町城山2丁目

昨年に続いてお声がけいただき地元のウクレレメンバーを中心とする 12名で10曲ほど演奏しました♪

手拍子や歌声で盛り上がりあつという間の1時間!

お客様がとても温かく私達も楽しく演奏することが出来ました!



YYフラグループ

「いなべ市民祭 舞台発表会」

11月30日(日) 於 いなべ市さくらホール

年に一度のいなべ市における文化発表の機会です。いなべ市民のメンバーを中心に東員町など他地域の仲間も加わって賑やかに5曲を踊りました。力を合わせて取り組み、心地よい達成感を得ることが出来ました!



笹尾民踊クラブ&なでしこ虎の会

介護施設の盆おどり

8月9日(土)17:00～、18:30～

於 紫苑のみち

ドローンが見守り、大きく連なるしゃぼん玉の輪に、ゲームを楽しむ輪が生まれました。そして、手作り、牛乳パックの提灯が風に舞う中で、ダンシングヒーロー、炭坑節他6曲が流れ、皆様と共に楽しく踊る幸せを感じた夏まつりの一日でした。

写真はドローンよりパチリとその一枚です。



ひばり窯陶友会

ひばり窯陶友会クラブ展

8月22日(金)～24日(日)

於 東員町総合文化センター2階展示室

会場ごとにコーナーを設け、それぞれ自信作を展示しました。来場者には必要に応じて作品についての説明や思いを伝えました。

絵付けコーナーでは、参加者が会員の説明を受け、思い思いの模様をつけていました。

会員は、個々の作品について、技法や施釉の方法等を学び合うことができました。



菊水流詩舞東員クラブ・民謡寿会

とういん市民活動センターわくわくフェスタ

10月5日(日) 於 ひばりホール

いなべ市民祭舞台発表会

11月30日(日) 於 さくらホール

9月から10月 老人会等舞台発表 民謡寿会参加
老人会 詩舞・民謡で慰問
民謡歌詞を拡大して参加者の皆様に唄って頂いたり、踊って頂くようにしています。



岡田絵画グループ

第15回岡田絵画グループ合同展

10月3日(金)～10月6日(月)

於 柿安シティホール

2009年に始まった合同展も今回で15回目を迎えることが出来ました。北勢地区7サークルの会員が98点の作品を展示し多くの方々に鑑賞して頂きました。

また今回は15回目の記念大会でもあり10月9日に懇親会を開催。まずは20回目を目指し一層の研鑽を誓い合いました。



追伸：絵画グループ代表として会の発展に尽力頂いた水原敏郎様が11月26日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



気功クラブ

第8回青空気功

10月11日(土) 於 雨の為 東員町武道館

気功クラブのメンバーと共に参加者の皆様とやさしい気功を体験して頂きました。

根強い気功ファンに恵まれ「来年も参加します」という声を聴く事が出来ました。



バトンメイツフェニックス

東員町商工祭2025

10月19日(日) 於 東員町中部公園

東員町商工祭に出演させていただきました。

今年は演技披露の機会も多く、初めて演技する曲目が多いなか全員で楽しみながら完成に向けて練習しました。

本番当日緊張もありましたが、みなさんの手拍子や拍手で笑顔で精一杯、演技することができました。ありがとうございました。



員弁百人一首の会

第36回東員百人一首かるた大会

10月12日(日) 於 東員町武道館

県内各地より55名のかるた愛好家が参加し、大会会員も入賞しました。

今後も楽しく普及活動を進めていきます。



大会結果

東員名人位の部

優勝	佐竹 寛	伊賀市
準優勝	中村 久美子	伊勢市
三位	中川 華恵	三重県立松阪高等学校1年
三位	加田 ゆかり	鈴鹿市

有段者Dの部

優勝	西 理那	松阪市立鎌田中学校3年
準優勝	中川 来優	名張市立桔梗が丘南小学校4年
三位	中辻 初菜	暁高等学校1年
三位	田中 海音	暁中学校3年

一般の部 (1)

優勝	吉村 さつき	三重県立桑名高等学校1年
準優勝	庄村 慈	暁高等学校1年
三位	丸川 陽由	三重県立桑名高等学校1年
三位	大浦 美里	三重大学1年

一般の部 (2)

優勝	一木 娃花	三重県立桑名高等学校1年
準優勝	半場 美結	暁高等学校2年
三位	舘 桃花	暁中学校3年
三位	澤村 千鶴子	伊賀市

小学校高学年の部

優勝	駒瀬 福	東員町立笹尾西小学校6年
準優勝	榎本 奈津	津市立藤水小学校6年
三位	藤井 もなみ	鈴鹿市立一ノ宮小学校6年
三位	藤井 もも菜	鈴鹿市立一ノ宮小学校4年

初心者の部

優勝	中川 亜由子	松阪市
----	--------	-----

活 動 の ご ろ

笹尾吟詩会

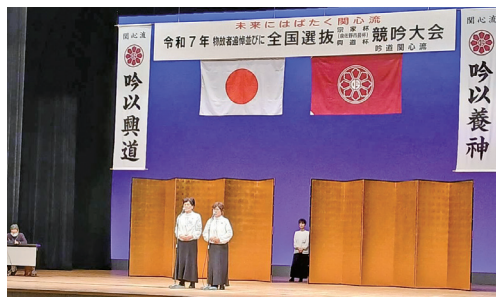
全国選抜興道杯競吟大会

12月13日(土)

於 大阪泉の森ホール

10月26日(日)関心流資格認定審査会にて受験者3名合格しました。

12月13日(土)全国大会(大塚・日比組)が連吟で出場しました。



箏曲麗明社「廣翔会」

桑名市民芸術文化祭

「芸能の祭典」

11月2日(日)

於 桑名市民会館

いなべ市民祭

「舞台発表会」

11月30日(日)

於 北勢市民会館

桑名市の「芸能の祭典」に出演し、「Shall We Dance?」を箏三重奏で演奏しました。次にいなべ市民祭「舞台発表会」に出演し、「ブーベ 恋人」「太陽がいっぱい」「エル・クンバンチェロ」の3曲を箏三重奏で演奏しました。無事終わり良かったです。



短歌に親しもう 土曜の会

会員各自で三重歌人クラブ等の歌会に参加したり、短歌誌に投稿しています。会としてイベントに参加しておりません。

8/2、9/6、10/4、11/8、11/27（紅葉に染まっ

ての一歌会）
於 笹尾コミュニティセンター但し、11/27のみ会員 中村トミコ宅

特別な題材でなくてもいい、日々の小さな出来事を気軽に詠み合う歌会です。互いの歌を丁寧に読み、歌評を交わして表現を磨いています。身近な暮らしに根ざした、参加しやすい歌づくりの場です。



東員短歌会

詠草投稿（2025年7月～毎月1回）

中日新聞社 三重総局

歌会は、各会員が2首持ち寄り、「古典と現代」の融合の言葉遊びを楽しんでいます。自由参加なので気軽にお越しください。城山2丁目山田宅にて、毎月第2木曜日午前9時から11時半です。

新聞掲載を楽しみにしていただいている方や、多くの方に詠んでいただけるように、毎月投稿を行っております。

ニットルームかわまつ

成績優秀者表彰式

11月24日(月・祝)

於 国立オリンピック記念青少年総合センター

9月に実施された検定試験の合格表彰式に2人で参加し、当教室の永島紫織さんがレース検定2級文部科学大臣賞を受賞しました。

毛糸450名、レース50名の合格者がありその中で栄えある賞をいただき今後の励みになりました。



東員絵画クラブ

中国料理 竜宮城 年2回の常設展示

令和7年12月6日～令和8年6月6日

いなべ市麻生田 竜宮城

油彩、水彩等、10点の作品展示



東員短歌会

詠草六首

○ 邑祭^{むらまつり}たのしかりけりアメリカ人銀行員も山車^{だし}担ぎをり

山川ちあき

○ あかつきの東名駆りて水戸めざす窓の額にてモネの「日の出」を

山田百合子

○ 図書館のチラシの角はまあるくて手にする手へのぬくもりのあり

山田由紀子

○ 風の盆男踊りの進むなか静かに止まる胡弓の音まで

出口 幸男

○ 道端にスズメバチの死骸ありその孤高の姿目に空写し

中村 秀明

○ ローゼルのジャムを沈める峰不二子くれなゐいろの紅茶が似合ふ

太田美千子

短歌に親しもう土曜の会 短歌六首

○ 耕せば土は黒ぐろふつくらとひと打ちごとに春の湧き立つ

川合 孝子

○ 並び立つ青き齒ぶらしあれ以来渴きたるまま今日^{ふたなのか}二七日

水野 洋子

○ 今日もまた道草^{せな}している背いくつ蟻の巣つつき声あぐ仲間

武本美千代

○ 終戦の日に生まれたる我なりてひと日ひと日をひしと生きゆく

鈴木 秋代

○ 〈ひとり死〉の覚悟を問いて松明^{たいまつ}花夫亡き庭に赤赤燃える

小森 逸子

○ 山法師^{やまぼうし}の天辺の枝枯れている戦終^{いくさ}らず猛暑も去らず

中村トミコ

しやくやく俳句会

白魚汲む潮の匂ひを汲み出して

国枝 隆生

自註 赤須賀漁港では春に先駆けて、白魚を新年から採り始める。海水ごと汲み出すとき、その潮の匂いから春の訪れを感じた。

綿虫やひび割れ深きしるべ石

国枝 洋子

自註 桑名の春日神社の鳥居に寄り添うように東海道^{東海道}のしるべ石がある。長い間風雨にさらされ、ひび割れも深くなってきた。その周辺を綿虫が舞い、しんみりとした気分^{しんみり}にさせられた。

雪嶺や近江と美濃の国さかひ

水谷 仁士

自註 伊吹山はふだんは遠くに見える山。雪がかかると近くに見える山。あの山の滋賀県（近江）と岐阜県（美濃）の県境にあると、小学五年生の時に知りました。

春の川砂のきららを手に掬ふ

萩野 恵子

自註 近くのキャンプ場へ行った。川底の白砂が日射しにまばゆいばかりで、思わず手を浸してみると水はあたたかく穏やかな自然の目覚めを覚えた。

第33回 春の文協まつり

主催 (一社) 東員町文化協会 共催 東員町教育委員会
お問合せ (一社) 東員町文化協会 TEL 76-7711

● 作品展

入場無料

3月4日(水)～8日(日)

展示時間 9:00～17:00
(初日は13:00～最終日は16:00まで)

場 所 東員町総合文化センター 特設展示会場
文化協会会員及び加盟団体会員の作品展示

陶芸第一クラブ・ひばり窯陶友会
東員フォトクラブ・東員絵画クラブ
清和会・楽絵筆・岡田絵画グループ
東員短歌会・短歌に親しもう土曜の会
石垣茶華道教室・ニットルームかわまつ
洋裁サークル・マミー

公民館講座、卒業作品展示

出展内容 陶芸・写真・絵画・短歌・生花・書道・
服飾・手芸・工芸・トールペイント・
ガラスアート・その他

(展示内容は作品応募状況により変更になる場合があります)

● 芸能祭

入場無料

3月15日(日) 10:30～(開場10:00)

場 所 東員町総合文化センター
ひばりホール

出 演 者

文化協会加盟団体
YYフラグループ・YYウクレレグループ
飛龍東員太鼓・バトンメイッツフェニックス
員弁東部吟詩会・菊水流詩舞東員クラブ
箏曲麗明社「廣翔会」
東員町大正琴クラブ・笹尾民謡クラブ
笹尾吟詩会・民謡寿会
(順不同)

司 会

川井 道子 中村 厚子

● 大茶会 (抹茶)

3月8日(日) 10:00～15:00

場 所 東員町総合文化センター
1F第2研修室(和室)

茶 券 お一人様 500円 (茶菓子含む)
(前売券は文化協会事務局で販売) 当日券あり

● 囲碁大会

3月20日(金・祝) 10:00～(受付 9:00)

場 所 東員町総合文化センター
対 象 囲碁に興味がある方ならどなたでも
参加できます。

そ の 他 棋力によりクラス分け各人4回
対戦し順位を決めます。

参 加 費 一般 2,000円
文化協会会員 1,000円
高校生以下 1,000円

※当日会場でお支払いください(昼食付)

問い合わせ 伊藤 ☎090-7615-5115

編集後記

悲喜こもごもの11月でありました。

11月15日(土)に東員町出身の落語家、三遊亭鯛好さん(当協会の個人会員でもあります)の「真打の昇進と三代目三遊亭百生の襲名」を記念する落語会が東員町総合文化センターひばりホールで盛大に開催されました。

500名以上の来場者の方が、プロの落語に魅了され、古典芸能のすばらしさを体感できました。

11月26日(水)当協会の水原敏郎常務理事が急逝されました。平成30年度から令和7年度まで理事、その内令和2年度から3期6年常務理事。役員として東員町の文化振興に尽力されました。文化活動では、岡田絵画グループの代表として東員町文化祭や文協まつりの展示の世話役として全体の企画や運営に率先して関わっていただきました。ここに、永年のご功績に感謝しますとともに、心より哀悼の意を表します。

平野 義人

※文協まつりの内容につきまは、変更になる場合があります。

(広報委員)

編集担当 川松 由喜子 木村 真由美
平野 義人

ホームページ担当 照井 亮平

発行 一般社団法人 東員町文化協会
三重県員弁郡東員町山田1700
東員町総合文化センター内
TEL 0594-76-7711
FAX 0594-76-2888
E-mail info@toin-ca.org
https://www.toin-ca.org

